

戦史資料調査件

昭和二十年十月三十日

独立混成第四十五旅團長隊

支局收容課庶務御中

一、部隊名及部隊履歴、概要、部隊長名

1. 部隊名 独立混成第四十五旅團長隊

2. 部隊履歴、概要

昭和十九年八月十九日屯營(吾通寺)出發同月二十日鹿見港出帆、

九月十四日石垣島上陸、尔後同島、陣地構築並ニ現地自活ニ徹ス

3. 部隊長名 陸軍大尉 大藤芳久

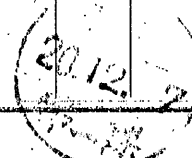
二、指揮隷屬關係及其ノ変遷、概要

独立混成第四十五旅團長ニ隷屬シ旅團ハ石垣島上陸直ニヨリ第三十三軍

指ヲ隷下ニ入り第二十八師團長ノ指揮ニ入ル 昭和二十年七月台湾第十

方面軍ニ隷屬セシ直轄セシニ舊近部隊變行セラル 終戦後十月

再度第二十八師團長ノ指揮下ニ入り今日ニ至ル



0883

三、参考の主要資料（以下）の概要、死傷損耗

自三月二十日  
至六月三十日

天一号作戦に参考ス 部隊、乗員、兵団復廓

陣地構築ニ従事ス

四、死傷損耗ハ概算ナリ

四、給養、衛生

給養ハ三月末迄ハ定量ヲ支給シ得タレシ。沖繩本島敵上陸後ハ船舶ノ輸送杜絶シ之カ為メ極度ノ苦痛ヲ感シ食糧ハ定量ノ約半分ニ減シ之カ不足ハ現地自活ノ甘藷ヲ以テ補捉シタレシ。之モ水漬シ得ス六月以降ハ食糧定量ノ十分程度ニ減シ野菜類ハ皆無。又肉類ハ殆ト給養ニ得ス。副食ハ塩汗ニ野菜ヲ以テ補ヒ米レリ。

其、衛生状態ハ給養ノ粗悪トシテ、且、ノ為メ毎日ノ作業、出場若ハ約半數程度ナリ。然レニ之等モ甚ク罹患者ニテ、産後傷ハ不適ナシ。之、インキノ常用服薬ニ依リ相當ニ預防シ得タリ。

其、他傳染性疾患ハ認めラレズ。

軍

報

六 終戦より歸還迄ノ行動ノ概要

部隊ニ終戦ニ伴ヒ復廊休業ノ停止ニ各若ク擇選善ニ無病地帯

ニ移駐ヲ開始シ四箇町石垣國民学校ノ改築ヲ實施シテ、改營

休業ニ従事シ之ヲ休業界ト定メト共ニ歸還ノ命ヲ受ケ

七、其ノ他部隊終戦中特異ト思ハラレル事

部隊ニ第二次補給部隊ニシテ才一次ノ歸カ部隊ハ昭和十九年

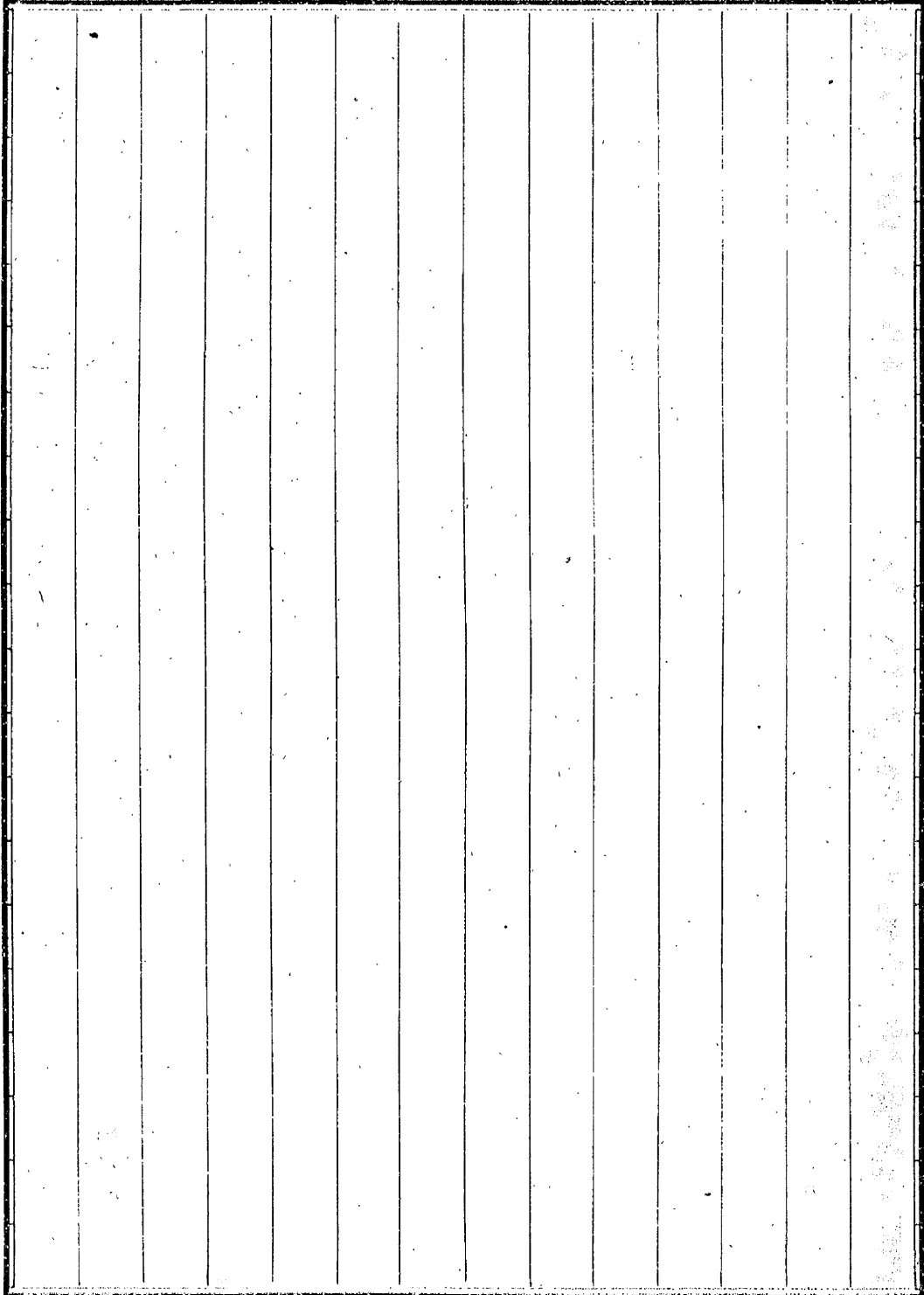
六月<sup>昭和十九年</sup>徳ノ島沖ニ於テ進駐途次遭難シ部隊長久保田中尉以

下一五〇名<sup>本隊</sup>死ス<sup>本隊</sup>残存者僅ニ松岡晋長以下<sup>本隊</sup>廿名ナリ

其ノ他特異ノ事ナシトシテ石垣島上陸後之ヲ合シ

歸成定率トナル

其ノ他特異ノ事ナシ



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0886